

06 二輪車における取り組み

二輪車業界団体との協力による安全と防犯への取り組み

(社)全国二輪車安全普及協会に参画し、二輪車の安全運転実技講習会等に二輪車安全運転推進委員会と協力して安全運転指導員を派遣し、グッドライダーミーティング等の安全運転講習会の開催に努めています。

また、二輪車の盗難抑止を目的に実施しているグッドライダー防犯登録の普及促進にも協力しています。毎年行われる(財)全日本交通安全協会主催の「二輪車安全運転全国大会」には競技用車両の提供や審判員の派遣等の協力をしています。

(社)日本自動車工業会と協力して、二輪車駐の駐車場整備促進等の利用環境の改善活動や、交通事故防止のためのキャンペーン活動等を行っています。

ABS体験試乗会

スズキは大型車を中心に安定したブレーキ性能を引き出すための補助装置であるABSを装着した二輪車の拡充を図っています。これまでにABSを装着したGSR400、バンディット1250S、スカイウェイブ400・650等を商品化しました。

スズキはABS体験試乗会を2008年中に全国で21回開催し、約500名のお客様に体験していただきました。

先進のブレーキシステムを体験していただけるABS試乗会を今年も全国で50回、1,500名以上を目標に開催し、二輪車ABSの普及促進を図ってまいります。



スズキセーフティスクールの開催

2008年より一般のスズキ二輪車ユーザーを対象に、竜洋コース内二輪教習所にて、楽しく安全運転を学べる「スズキセーフティスクール」を開催しています。対象はちょっと運転に自信の無いビギナーや徐々にバイクに乗るリターンライダーから、運転には自信があるが、再度、基本や新交通ルール、マナーを学びたいというベテランライダーまで幅広く受け入れています。

「走る、曲がる、止まる」といった基本カリキュラムから、「危険予測」「ABS体験走行」まで、セットで楽しみながら体験できる講習会として、年間4回実施しています。



「バイクのふるさと浜松」への協力

国内オートバイ産業発祥の地である浜松から、全国へその情報や文化、魅力の発信を行う「バイクのふるさと浜松」。2007年には入場者3万人を超える一大イベントとなりました。スズキはこのイベントに協力することで、二輪車に憧れ、ものづくりを担う次世代の人材の育成や、産業観光・ツーリング企画を通じた二輪車愛好家の集う街づくりに貢献しています。



市販車展示「タッチ&トライ」 モーターショーのコンセプトモデル展示
浜松市内～イベント会場をパレードし交通安全運転をアピールします

社内安全運転講習会

二輪車を製造、販売しているメーカーとして、新入社員や二輪通勤者、関連会社、代理店の従業員等を対象に二輪車安全運転講習会を、毎年定期的に開催しています。

2008年度は既に大卒、高卒新入社員、二輪通勤者、代理店社員等を対象に20回の講習会を実施しました。

今後も継続的に開催することにより、安全運転意識と基本操作の向上、交通ルールの遵守、マナーの向上を目的に、二輪車メーカーの社員として他のライダーの模範となるよう教育、指導していきます。



サンデーSRF in 竜洋オフロード講習会の開催

これからのオフロードモータースポーツの社会的普及と根おこし活動として、スズキコンペティションモデルRMシリーズをご購入頂いた初心者からベテランまで幅広いオフロードユーザーを対象に、毎年7～10回、竜洋オフロードコースを利用して、テクニカルスクールを開催しています。インストラクターには国際A級ライダー及び全日本レディスV8チャンピオンライダー鈴木沙耶を招いて、マンツーマンで手ほどきを受けられる、充実したテクニカルスクールとなっています。これまで多くのお客様に参加していただき、モトクロスの基本テクニックを習得していただきました。今後も継続して開催していきます。